

いまこそ、被爆者とともに、若い世代とともに、 「核兵器のない世界」の扉をひらきましょう



浦田 直樹さん

戦争の悲惨さを語り継ぐ

8月6日広島に原爆が投下されてから68年目の日、原水爆禁止世界大会参加の事前企画として「浦田直樹さんの被爆体験を聞く会」を大正民主診療所で行いました。

原水爆禁止世界大会へ参加の6人の方も含め職員・組合員さん30人の方がお話をききました。

浦田さんは旧大正民生協の元職員で、現在73歳。広島市草津町で5歳の時に被爆されました。原爆が投下された瞬間は今もはっきり覚えていて、窓の外がオレンジ色に染まり、次にきた爆風で家具が吹き飛ばされ、庭で遊んでいたお兄さんも飛ばされてケガをされました。その後、目の当たりにしたのは爆心地の近くで被爆した人たちが全身真っ黒な姿で必死に町まで帰ってきていた姿でした。

ご自身是被爆者ということ意識したくなかったそうです。しかし被爆の語り部として活動さ



参加者への平和のリレー

の思いを受け継いで、ご自身の被爆、戦争体験を多くの人に知ってもらうため、小学校などで語り部として原爆の怖さ、戦争の悲惨さを語り継いでおられます。

平和は不断の努力で守るもの

浦田さんは最後に峠三吉さんの詩を朗読されました。

ちちをかえせ ははをかえせ
としよりをかえせ こどもをかえせ
わたしをかえせ わたし
につながるにんげんをかえせ
にんげんの にんげんのよのあ
るかぎり ぐずれぬへいわを
へいわをかえせ……

平和は不断の努力で守るもの。一人一人が平和への思いをしっかりと次の世代へ伝えていき、私たちができることは何かを考えて行動していかなければ、とあらためて感じます。

西成民主診療所 職員 浅見 洋子さん

(被爆の)体験者の方にとっては生々しい実感とともに記憶された出来事ですが、私はそれを想像してみることしかできないのだというもどかしさを感じました。原爆が投下されてから今年で68年目を迎え、体験者の方々も高齢になられています。これからは、若い世代がこの記憶を受け継いでいかなければならないのだと改めて思いました。

大正民主診療所 職員 濱本 純子さん

オリバーストーン監督の分科会に参加し、そこで監督は「国民は原爆や過去の歴史を知らされていない。知ることによって戦争へ兵隊を送れなくなる、風化させようとしているよう、ドイツは過去の歴史に向かい合い謝罪を含めて反省をして戦後を再出発した。政府を作っているのは国民です。『かならず選挙には行きましょう』と話され、原発や歴史観を考え直す機会を与えていただきました。

ノーモア・ナガサキ! ノーモア・ヒロシマ!
ノーモア・ヒバクシャ!
長崎を最後の被爆地に



きづがわから原水爆禁止世界大会に参加された方 樋口真彦、恵道乃、萩原光代、浅見洋子、濱本純子、鮎子多ちはる、お疲れ様でした。(敬称略)

3つの診療所で健康診断が受診できます 年に一度は健診を受けましょう

健康診断

大阪きづがわ医療福祉生協では病気を治療することだけでなく、とどまらず、病気を予防する健康づくり活動に力をいれています。

大正区・西成区・港区にある診療所で健康診断を行っています。お近くの診療所でぜひ受診ください。

健診実施診療所

※健診内容・料金・健診時に必要なものについては、各診療所にお問い合わせください。

▶大正民主診療所 お問合せ・ご予約 06-6554-1197

平日健診	午前	月~土	8:30~(月・火がおすすめ)
	午後	月・火・金	17:30~
日曜健診	第3もしくは第4日曜(月1回) 午前8:15~11:30まで		

▶西成民主診療所 お問合せ・ご予約 06-6659-1010

平日健診	午前	月~金	9:00~12:00
	午後	月・水・金	18:00~20:00
日曜健診	第2もしくは第3日曜(月1回) 午前9:00~12:00まで		

▶みなと生協診療所 お問合せ・ご予約 06-6571-5594

平日健診	午前	月~土	9:00~
	午後	水・金	18:00~
日曜健診	月1回(実施日はお問い合わせください) 午前8:15~11:30まで		

無料 高齢者・障がい者のための
電話相談・出張相談

きづがわ共同法律事務所

受付専用 ☎ 06-6633-7624

受付時間 月~金 9:30~17:00

まずは、お気軽に
お電話
ください

理事会報告

第2回理事会

日時 2013年7月27日[土] 午後4時~6時
場所 なんば 府立体育館会議室
出席 理事 27/33名中 監事 1/3名中

協議事項

1. 第1回理事会議事録の件
2. 参議院選挙の結果と課題

承認事項

- 1号議案 第2回通常総代会関連議事録の確認
登記手続き完了の確認
各エリアの体制等について
- 2号議案 6月度事業報告と第一四半期の結果と課題
- 3号議案 100万円をこえる医療器機等の導入
- 4号議案 みなとエリアたまり場設置の件
- 5号議案 大正エリアの建設計画に関して
- 6号議案 強化月間について
医療福祉生協連の方針
大阪きづがわ医療福祉生協の目標 3カ年計画
健康づくり方針

各報告承認事項

- ①前進座実行委員会
- ②社会保障・原発・震災支援の取り組み
- ③各エリアの活動報告と計画

7月から各診療所・歯科で始まりました無料低額診療事業。2012年の冬から準備し、予定通り、みらい7月号に掲載することができ、ほっとしました。

低所得の方に対する保障が悪化しているなか、国保料が払えない、医療費が払えず医療機関にかかれないという方がいらっしやと思います。ぜひ、各診療所・歯科の受付までご相談ください。公的な制度や社会資源の活用、生活改善の方向を見つけて、一緒に治療をすすめていきましょう。

宮下 真依子



港区、三社神社まつりでの
原水爆禁止署名とカンパの取り組み

018
今月の
いちまい

「子ども達の未来に核は残したくない！」

● 平和行進 7月4日 大正区役所前～此花区役所前

東京夢の島を出発し、広島を目指して歩き継がれている国民平和大行進。その網の目コースとなる7月4日の「大正区役所前～此花区役所前」に参加しました。コースの途中の境川から合流し、参加4回目になる今年は、初めて此花区役所を目指して歩きました。

蒸し暑いなか、持参した「平和と憲法九条」団扇で平和をアピールしつつ、シュプレヒコール。沿道で手を振ってくださる方に元気づけられ、「核兵器はいらない」「原発は今すぐ止めて！」な



ひまわりの声援

沿道で手を振って
くださる方に
元気づけられ！

ど声をあげました。福島原発事故で避難生活をしている多くの人のこと、政府の原発再稼働や輸出を進めようとしていることへの怒り、子ども達の未来に核は残したくない！様々な思いとともに歩きました。

健脚の先輩方の後を何とかついて行き、此花区役所へ到着。甘いスイカをいただきました。来年の平和行進の時には原発は全て止まっていようか。子ども達のためにも運動を続けたい!! 思いを新たに帰路に着きました。

港エリア 吉川安代



大正区役所前での集会

三軒家女工哀史

紡績史上最初の重大事件

明治二十五年十二月二十日、大阪紡績工場から出火した火事は、多くの女子工員を犠牲にする大惨事になった。火は壊れた窓から吹き込んだ風によって一度に燃えひろがり、逃げ遅れ主に三階のかすり場にいた

三軒家が発祥の地となった大企業が、犠牲となった乙女たちになにを報いたのか、何の記録も残っていない。

がもう健 きづがわ往来



第十二回

明治十六年から三軒家村で操業を始めた、大阪紡績会社の創業者は国立第一銀行頭取渋沢栄一で、経営者には、当時英国に留学していた山辺丈夫に白羽の矢を立て、研究資金を送った。明治十五年工場完成、三軒家村は都心から離れているが古くから船着き場としてにぎわい、石炭や原料等の運搬に便利のため選ばれたという。明治二十二年に増築された時には、れんがづくり四階建てで、六万錘を備え、工員数四千人を擁する業界の最大手となった。

女子工員達は、階段で折り重なって倒れていた。九十六人のうち若い乙女の命を奪い、二十二人を負傷させたこの出来事は、紡績史上見過ごすことのできない、最初の重大事件であった。

大阪紡績はこの火事で、工場と紡機三万三千三百二十錘を消失、四十万八千九百九十一円の大きな損害を受けた。しかし、同社はこの被災によって、古い紡機を一挙に二万四千錘の最新式リング紡機に更新した。

山辺はその後も増錘と企業合併を繰り返して、大正三年、三重紡績と合併して東洋紡績となるころには、約十五万錘に達する盛況を示し、山辺は東洋紡社長を最後に大正九年五月十四日、六十九歳で没したが、同社は昭和六年、大阪合同紡績と合併して世界最大の紡績会社に発展した。

2013年9月25日～11月30日は、 生協強化月間!

赤ひげ公演の 取り組みで 学んだ事を活かそう



赤ひげにも通じる医療福祉生協の理念といのちの章典の実践で大いに医療福祉生協を大きくしていこう!



月間目標

- ①要求をくみ取り、期待に応える活動を旺盛に展開します。
- ②全国4課題(仲間増やし・出資金増やし・班増やし・担い手増やし)の年間目標の8割を目指します。
- ③出会いを大事に育てます。

舞台から観客に伝える力

港エリアの田路君とみなと診療所で、前進座の女優、北澤知奈美さんにお話を聞かせていただきました。舞台にかけける熱い思いが、私達に伝わってくる一時間でした。

舞台の小道具にもこだわりがあり、緊張感と臨場感を出すためにホンマ物を使う、蒔絵を施した物とか、正絹の着物を使ったり、庶民の衣装は古い時代感を出すために本当に古い布を使い、つぎはぎにしているので破れないように余計に気を使ったりするそうです。

舞台と観客の一体感を出して行く、お客さんの層によって受け方や感動の仕方、場面が違ったりするそうです。

田路君からは、映画のワンシーンの感じをどう舞台で演出するのですかと質問がありましたが、映画と違った感動で観てもらえるので楽しみに観劇して下さいとも話されています。

山本周五郎の作品にも話題がいきりましたが、ここでも周五郎小説の人生観などを熱く語られて、役者の勉強もしなければいけないし、人間としての厚みも必要だと感じ、それが舞台から観客に伝える力になるのだと思いました。

過去「赤ひげ」を鑑賞しましたが、演じる側のお話を聞くことで新たに舞台を観る目が変わってくることでしよう。

大正エリア 別所義正

10月29日の「赤ひげ」公演をまえにー前進座の女優、北澤知奈美さんにインタビューー

『生』の文化に触れる

「全く同じ公演は絶対に無いです！」お雪役を演じる北澤知奈美さんは、力強くそう語った。

80年以上の歴史を誇る前進座が、これまた歴史のある山本周五郎原作の「赤ひげ」の舞台公演を今年の秋に大阪で行う。物語は若き医師・保本が小石川養生所に呼び出され、医長の赤ひげこと新出去定と出会うところから始まる。医療の真のあり方や、人の絆といったテーマに正面から向き合った素晴らしい作品である。

公演は映画やドラマのように完璧ではない。ミスをすることもあるし、思わぬハプニングに見舞われることもある。しかしそれらも含めた観客との一体感というのは、決して映画やドラマに出せるものではない。観客の反応に合わせて微妙に演技に変化を加える。同じ題目であっても、観る人が変わることによって毎回新しい公演が生まれる。それこそがいわゆる「生」の文化の醍醐味ではないだろうか。

現代ではテレビやインターネットの普及により、実際に舞台や公演を観に行く機会は目に見えて減っている。しかし、それは決してそういった「生」の文化が劣っているということではない。「生」だからこそその面白さ、それを知っているからこそ北澤さんの言葉にも力がこもったのだろう。私も「赤ひげ」公演を通して、是非「生」の文化が持つ面白さを体感してみたい。

港エリア 田路 耕平

赤ひげ観劇はもちろんの事、たくさんの組合員さんの運動へのご参加をよろしくお願いいたします。

港エリア ●

放っておけないぞ！介護保険制度の改悪

昨年に引き続いて今年も7月12日(金)15時~15時30分に地域の集会所を利用して介護学習会を開催し、23名の参加者がありました。毎年開催しているのは、介護保険制度等が少しずつ厳しくなっていくこと、急に介護保険制度は利用できないので予備知識を持っておく必要があることなどの理由からです。まず、「大阪市の介護保険パンフレット」をもとにして、「介護保険利用のポイント“重要事項及び申請必要事項”」を支部長より説明し、そのあと港エリアの堀ケアマネージャーから「介護保険外の高齢者のための行政サービス」について話してもらいました。要介護、要支援に該当していない方が

堀ケアマネージャーからの話し



元気なときから介護保険制度に関心を！

介護学習会



参加されておられる関係か、「介護保険外の高齢者のための行政サービス」のなかの「緊急通報システム事業」及び「高齢者住宅改修費給付事業」について質問がありました。

最後に、全日本民医連の資料に基づきながら、2015年度の介護保険制度改定で予想される「要支援者を保険給付から外す」、「ケアプランの有料化」、「ヘルパーの生活援助の切り捨て」等の説明があり、そのような改悪をみんなの力で阻止しなければならないことが強調されました。 築港支部 中原



西成エリア ●

毎年恒例の縁日が大盛況！

7月28日(日)今年で3回目になる「つれづれ縁日」をつれづれの里で行いました。大変、暑い中でしたが、地域の人・組合員・職員あわせて150名の参加でした。3年前に診療所を閉鎖してつれづれの里をオープンしました。つれづれの里は、10人定員のデイサービスと組合員交流ルームがありますが、どうしても診療所があった時と比べて、利用する人が減ってしまいました。何とかして、地域につれづれの里をアピールして、利用してもらいたいという思いから組合員と職員の共同で取り組むつれづれ縁日を行っています。



冷麺とバザー 大人気！

デイサービスつれづれの里で「つれづれ縁日」を開催

三味線で大合唱♪



今年も、組合員さん手作りの冷麺・チラシ寿司・アイスコーヒーは大人気でした。またデイサービスの利用者さんの手作りの小物も大変人気がありました。意外とバザーも人気で、地域の方は破格の値段で掘り出し物を見つけて買って帰っていました。地域の方でいつも集まって演奏している三味線をご披露して頂き、参加したみんな、三味線に合わせて炭坑節やよさこい節を歌いました。最後は、大ビンゴ大会で大いに盛り上がりました。10月に取り組む「赤ひげ」公演もしっかり案内でき、秋の取り組みもますます楽しみになってきました。来年も、みんな元気でまたつれづれ縁日をしたいねと実行委員会で確認して、無事に終わりました。

大正エリア ●

昭和山から遠くは三重県まで

7月27日(土)に60人の参加者でそれぞれにハート型の風船を手にとって昭和山に登りました。「核の無い社会」を願った短冊を付けた風船を大空に託しました。風に舞って大空高く願いを乗せて飛んでいきました。

昨年は奈良から願いを手に取りましたと連絡が入りました。今年3件の連絡が入りました。

1件目は奈良県櫻井市からメールにて、ジョギングの途中と。(直線距離で約40km)

2件目は遷宮で国内旅行トップになっている伊勢市のお隣の町、三重県多気郡多気町から、電話で連絡が入りました。(距離約120km)「三重までちゃんと平和の願い届きましたよ」とコメントも頂きました。会社の敷地でお昼ごろに見つけたそうです。お名前は「キムラ」さんとか、世界に広がれ核のない平和な社会と願いま

「核の無い社会」を願い、風船飛ばし

した。

3件目は、東大阪の池島にある特養の職員がメールを届けてくれました。

風船とばしの後、歯科3階できづがわ共同法律事務所の宮本弁護士から、憲法の話を行いました。日本だけが改憲のハードルが低い様に宣伝しているが、ドイツでもアメリカでも三分の二が必要になっている、などを学童の子ども達と一緒に聴きました。



平和の願い、届け！！

浪速エリア ●

映画鑑賞や学習会もしていきたい

7月25日(木)浪速支部でおしゃべりカフェ班会を浪速区の恵美会館で19名の参加で行いました。この班会は、浪速区の東ブロックの組合員さんを中心に集まって月1回行っています。浪速区の生活と健康を守る会にもお手伝いを頂いております。班会の内容は、喫茶を組合員さんで準備してもらっています。また、健康チェックを行いながら、脳イキイキ班会なども行いました。前回は、認知症のお話をして、認知症予防の為に、県庁所在地を言い当てるゲームや、江戸時代の地名当てなど楽しく交流しながら行いました。参加費は、喫茶料金だけです。次は、どんな企画をしようか検討中です。映画や

脳イキイキ班会



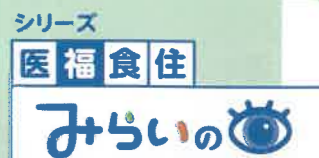
学習会などもしていきたいと考えています。

この班会は、毎月第4木曜日の午後2時30分~4時で行います。場所も恵美会館で定着しようです。是非、浪速エリアの方は来て下さい。



恵美会館 大阪市浪速区恵美須西2丁目13-30

おしゃべりやゲームで脳イキイキ



これが医療福祉協会の魅力

24時間365日の安心を自宅に届ける 小規模多機能型居宅介護施設

大正エリアで建設をめざしている小規模多機能型居宅介護施設は、「宿泊」の機能を持ちますが、入所を目的とする施設ではなく、住み慣れた自宅や地域で生活を続けていけるように高齢者や家族を支えていく事業所です。介護保険の地域密着型サービスですので、要支援1・2、要介護1〜5の介護認定を受けた方が利用することが出来ます。

この事業所は次の3つの特徴をもっています。

「通い」でも「訪問」でも「宿泊」でも顔なじみの職員が対応するから安心

小規模多機能型居宅介護施設では「通い」を中心に、ご本人の形態や希望に応じて、「訪問」「宿泊」といったサービスを組み合わせて必要な支援をしていくことが出来ます。そのため、「通い」で顔なじみになった職員

が「訪問」や「宿泊」の際にも対応するので、環境の変化に敏感な高齢者(特に認知症の方)の不安を和らげることが出来ます。

利用者は25人までの登録制なので、他の利用者や職員となじみの関係を作りやすく、家庭的な雰囲気の中で楽しく過ごすことが出来ます。

柔軟なサービス提供で24時間365日の安心をお届けします

小規模多機能型居宅介護施設の提供する「通い」「訪問」「宿泊」の各サービスの内容は細かく定められていませんので、一人ひとりに合った柔軟な支援が可能になります。

「通い」は、その人が必要としているお風呂だけ、食事だけといった数時間の利用という使い方が可能です。逆に、夕食まで食べて帰宅する長時間滞在もできます。

「訪問」は「通い」だけでは支えきれない時間帯やさまざまな支援を、その人の「暮らしぶり」に合わせて支援していきます。緊急時に自宅に駆けつけることも可能です。

「宿泊」は「通い」慣れた場所での、なじみの職員と泊まれるので不安感が和らぎます。

ご家族の病气など緊急時の利用や、病院や施設から在宅生活に復帰する準備のための長期間の利用にも対応できます。

地域のみんなで考え、支えます

事業所の中に「運営推進会議」を設置し、地域包括支援センターのスタッフや自治会役員さん、民生委員さん、利用者のご家族、医療福祉生協の理事さんなどに参加してもらい、事業所の職員と地域課題の共有や情報交換を行い、連携をはかります。



おたよりコーナー



市内各区で毎年手話講習会を開催しています。大正区も4月から行っています。しかし医療機関に勤める方の受講が少ない、私達のような者が一番困るのは病気になる時、もっと医療機関の方に手話を勉強してほしいです。

大正区・ヤッターマンさん

まちがい探しは大得意！探している間が楽しいひとときです。毎日、しんどい事ばかりですが、落ち込まず前を向いて元気にやっています。施設誕生が楽しみです。少しでも協力したいとおもっています。8月に娘が2人目を出産します、楽しみです。

大正区・宮田 艶子さん

初めて応募します。現在育児休業中のママです。七夕様のイラスト可愛いですね。うちの玄関にも笹の葉を飾りました。

阿倍野区・悠ちゃんさん

先日、西成民主診療所で健診を受けました。ダイエットはとても難しいです。これからは体調管理をしっかりやらなければいけないと思います。

西成区・中泉 ヨシ子さん

つれづれ縁日に参加しました。子どもに返った様に楽しく幸せでした。ピンゴゲーム、リリーチに早くなったのに一枚が出なくて当たりませんでした。久しぶりの三味線の音大変よかったです。ありがとうございます。

西成区・鈴木久美子さん

歩くと言う事は健康に一番です。私も50年代位までは、毎月第一日曜日は奈良、京都、兵庫とハイキングに行きました。若い頃に富士山と屋久島へも行きましたが、今ではとても遠出は無理となりました。歳を重ねたくはありませぬ。

港区・花原 美穂子さん

七夕のイラストで、田舎の真夏の降るような星空をなつかしく思い出します。子どもが結婚、孫が生まれると自分自身も里帰りも回数が増えることには遠くにおいて想うものになります。

大正区・こうちゃんさん

初めて応募します。まちがいさがしは仕事の合間の頭の体操にピッタリです。いつも季節感あふれるイラストを楽しみにしています。猫の絵もリクエストします。

港区・「こ」あママさん

「みらい」を見て何か始めてみようと思いついて、オーキングを始めました。しんどいですががんばります。

西成区・キムキムさん

毎年、半年ドックを受けていますが、要精密検査を記された検査結果を見ると不安が募ります。

港区・川原 重信さん

「原発はいらない」「再稼働反対」もちろん、福島のような被害を真実に速く、速く！

西区・井上和歌さん

大正のわかばは歯科事務の新入職員「根本理紗さん」が身近に感じました。昨年からの歯の治療でお世話になり、きれいにしてくださすスッキリとしています。受付でお会いしていますので、三つのエリアが合体したことで診療所の職員さんが、くっつく身近に感じられます。

西成区・伊藤 紀子さん

双葉会の映画とても楽しみにしています。出演者も書いておいてほしいです。

港区・リッチちゃんさん

無料低額診療の申請から承認までの流れが参考になりました。

西成区・西野 政吉さん

毎日暑い日が続いていますので、食中毒と熱中症を拝読して夏を楽しみたいと思います。

大正区・風鈴ちゃんさん

80才にして初めて入院しました。退院後、マイケア週2回、リハビリ週3回とがんばって、歩行機歩きですが良くなりました。これからも楽しい日々を送りたいと思っています。7月10日81才の誕生日祝いをして下さり感謝しております。ありがとうございます。

西成区・岡本 康榮さん

毎月暑い日が続きますが、皆様お変わりありませんか、母の代から生協にお世話になってます。今は一人暮らし。まちがいさがし、初めて応募しました。頭の体操になります。国民年金での生活は苦しいです。この先明るい希望があるのでしょうか。今70才もう少し世の中を見たいと思います。

港区・菅尾リエ子さん

今月号の水分補給、どのくらい飲んだら良いの目安になり、熱中症対策にします。

西成区・太田 桂子さん

毎日暑い日が続きますが、皆様お変わりありませんか、母の代から生協にお世話になってます。今は一人暮らし。まちがいさがし、初めて応募しました。頭の体操になります。国民年金での生活は苦しいです。この先明るい希望があるのでしょうか。今70才もう少し世の中を見たいと思います。

港区・菅尾リエ子さん

どこ？どこ？ まちがいさがし

下の絵は上と7ヶ所のまちがいがあります。どこでしょう？

どしどし 応募お待ちしております

正解者の中から抽選で15名の方に図書カード(500円)を進呈します。

【応募方法】
解答はイラストを切り取って、ハガキに貼ってお送りください。
*なおハガキの余白に解答と合わせて今号の感想やご意見、近況などもお書き添え下さい。

7月号の応募総数51名で 全員正解でした。

7月号の当選者 15名
小林セツ子、西尾悠子、宮内あいら、松野高明、西島やす子、杉本善子、伊藤紀子、ココアママ、菅尾リエ子、井上和歌、ヤッシー、中泉ヨシ子、大城保道、崎山美津枝、やだもん (敬称略)